

標題	粕江駅南口周辺地区まちづくり方針策定本部会議（令和7年度第三回）
日時	令和8年3月3日（火曜日）
場所	書面開催
出席者	委員長 平林 浩一（副市長） 副委員長 竹之下 真也（都市建設部長） 委員 高橋 良典（企画財政部長）、杉田 篤哉（政策室長） 杉田 剛（未来戦略室長）、松井 崇（安心安全課長） 銀林 悠（地域活性課長）、古内 洋一（福祉政策課長） 布施 治郎（健康推進課長）、山口 敦史（子ども若者政策課長） 秋山 尊利（環境政策課長）、萩原 豊（まちづくり推進課長）、 松野 貴洋（道路交通課長）岩渕 一夫（まちづくり事業課長）、 浅井 信治（学校教育課長）、金築 宏美（社会教育課長） 有識者 卯月 盛夫（早稲田大学総合研究機構） 吉江 俊（東京大学大学院工学系研究科） 山崎 満広（株式会社 Green Cities）

意見要旨（主な意見とそれに対する対応）

- （8ページ）：400mの根拠はあるでしょうか。
 - ➔ → 駅徒歩5分を目安としているため、半径400m圏としています。分かりやすくするため、「※400mとは徒歩5分の距離」を追記します。
- （8ページ）：「2040年代を将来像実現の目標年次とする。」について、現在庁内外で機運が高まっています。また、来年は市民参加が実施され、ますます市民から注目される中で、15年後では先過ぎるのではないかと思います。最終目標は2040で良いですが、機運が高まっている状況で順次実現できる取組みは進め、市民に進捗を示せば良いのではないかと思います。
 - ➔ 方針策定の際のまとめ方において工夫します。
- （8ページ）：対象エリアの北口エリアには「こまえーエキマチビジョン（粕江駅北口周辺エリア未来ビジョン）」があるので、素案のどこかに「こまえーエキマチビジョン」を盛り込んで欲しいです。
 - ➔ 参-3と参-4の間に「こまえーエキマチビジョン」のページを新たに追加します。
- （14・19ページ）：「駅前住宅」という記述がありますが、どのようなイメージなのか少し説明が欲しいです。
 - ➔ 「※駅前住宅とは：地域に開かれた利便性の高い施設を有する住宅等」を追記します。

- (23・25 ページ) : パースとフキダシによる説明は魅力的ですが、「からだで感じるまち」と「あそびがあるまち」の違いがあまり感じられません。
 - ➔ まちなかにおいて、3つのまちづくりの方向性(「からだで感じるまち」「あそびがあるまち」「つながるまち」)の全ての要素が実現されていることを想定しているため、各パースに1つのまちづくりの方向性をメインに記載しながらも、他のまちづくりの方向性も含まれる形としています。

- (33 ページ) : 取組方針4として住環境をとりあげたことは良いと思います。「多様な住宅」に関しては、具体的に示さないと一般市民には伝わりません。そのため、共助を前提にしたコレクティブハウス、グループホーム、シェアハウス等の表現を加筆してください。
 - ➔ 「オープンスペースでのコミュニティの形成」を「オープンスペースやコレクティブハウスでのコミュニティの形成」に修正します。

- (35 ページ) : 新しいチャレンジをしたい個人商店を応援する、支援するという内容が加えられると良いです。
 - ➔ 「新しいチャレンジがしやすく、」を説明文冒頭に追記します。